

25～44歳の出産・子育ての意識と実態 - 出産・子育てに関する調査より -

株式会社明治安田生活福祉研究所（社長 木島 正博）は、2018年3月に全国の25～44歳の男女12,221人を対象として、「出産・子育てに関する調査」を実施しました。

現在、家族をめぐる価値観や生き方は、結婚する・しない、子どもを持つ・持たない等多様化しています。本リリースでは、自分が中高生の頃の親との関係と現在の子育ての意識、子どもがいない既婚者・未婚者の意識、子どもを持つ意欲の視点から、出産・子育てに関する意識と実態について調査で明らかになった最新の状況をご紹介します。

< 主な内容 >

<p>5 今すぐにでも子どもが欲しいと思う割合 (中高生の頃の両親の関係別)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="2">30代前半 男性</td> <td>両親円満</td> <td>3割</td> </tr> <tr> <td>両親不仲</td> <td>2割</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">20代後半 女性</td> <td>両親円満</td> <td>4割</td> </tr> <tr> <td>両親不仲</td> <td>3割</td> </tr> </tbody> </table>	30代前半 男性	両親円満	3割	両親不仲	2割	20代後半 女性	両親円満	4割	両親不仲	3割	<p>10 子育てが楽しいと感じる割合 (中高生の頃の両親の関係別)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="2">男性</td> <td>両親とても円満</td> <td>6割</td> </tr> <tr> <td>両親とても不仲</td> <td>4割</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">女性</td> <td>両親とても円満</td> <td>4割</td> </tr> <tr> <td>両親とても不仲</td> <td>2割</td> </tr> </tbody> </table>	男性	両親とても円満	6割	両親とても不仲	4割	女性	両親とても円満	4割	両親とても不仲	2割	<p>15 子どもがいる人とは仲が疎遠になったり、話が合わなくなったと感じる割合</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>30代男性</td> <td>3～4割</td> </tr> <tr> <td>30代女性</td> <td>6～7割</td> </tr> </tbody> </table>	30代男性	3～4割	30代女性	6～7割
30代前半 男性		両親円満	3割																							
	両親不仲	2割																								
20代後半 女性	両親円満	4割																								
	両親不仲	3割																								
男性	両親とても円満	6割																								
	両親とても不仲	4割																								
女性	両親とても円満	4割																								
	両親とても不仲	2割																								
30代男性	3～4割																									
30代女性	6～7割																									
<p>16 子どもがいないことによるハラスメントを感じる割合 <30代後半・40代前半></p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>既婚男性</td> <td>4割</td> </tr> <tr> <td>既婚女性</td> <td>7割</td> </tr> </tbody> </table>	既婚男性	4割	既婚女性	7割	<p>22 理想の子ども的人数を持たない理由のトップは？</p> <p>「今以上の生活費や教育にかかる経済的負担に耐えられないから」</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>子どもがいる 20代後半</td> <td>既婚男性 7割 既婚女性 9割</td> </tr> <tr> <td>子どもがいる 30代前半</td> <td>既婚男女 8割</td> </tr> </tbody> </table>		子どもがいる 20代後半	既婚男性 7割 既婚女性 9割	子どもがいる 30代前半	既婚男女 8割																
既婚男性	4割																									
既婚女性	7割																									
子どもがいる 20代後半	既婚男性 7割 既婚女性 9割																									
子どもがいる 30代前半	既婚男女 8割																									
<p>26 子どもが欲しい割合 <30代前半未婚男性> <20代後半未婚女性></p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>年収 400万円未満</td> <td>5割</td> <td>年収 300万円未満</td> <td>6割</td> </tr> <tr> <td>年収 400万円以上</td> <td>7割</td> <td>年収 300万円以上</td> <td>9割</td> </tr> </tbody> </table>	年収 400万円未満	5割	年収 300万円未満	6割	年収 400万円以上	7割	年収 300万円以上	9割	<p>27 いずれは子どもが欲しい人が望むことのトップは？</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>教育費用の負担軽減</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>夫の家事・子育てへの協力</td> </tr> </tbody> </table>		男性	教育費用の負担軽減	女性	夫の家事・子育てへの協力												
年収 400万円未満	5割	年収 300万円未満	6割																							
年収 400万円以上	7割	年収 300万円以上	9割																							
男性	教育費用の負担軽減																									
女性	夫の家事・子育てへの協力																									

<p>ご照会先</p>	<p>(株)明治安田生活福祉研究所 生活設計研究部 力石(カキシ)・横田・上條・ 木下川(キカガリ)</p>	<p>本調査内容の引用・転載をご希望の場合は、下記までご連絡いただきますようお願いいたします。 電話：03(6261)6411 FAX：03(3511)3200 Eメール：chikaraishi@myilw.co.jp hi-kinogawa@myilw.co.jp</p>
-------------	--	---

＜ 調査の概要 ＞

- (1) 調査対象： 全国の25～44歳の男女。
ただし、質問により対象の年齢層が異なる場合があります。
- (2) 調査方法： WEB アンケート調査（株式会社マクロミル登録モニター対象）
- (3) 調査時期： 2018年3月9日～3月12日
- (4) 回収数： 12,221人
- (5) サンプルの属性

		現在、配偶者がいる人		現在、配偶者がいない人		計
				結婚経験なし	離婚経験あり	
		子どもあり	子どもなし	子どもなし	子どもあり	
25～29歳	男性	454	309	515		1,278
	女性	515	309	515	163	1,502
30～34歳	男性	515	309	515		1,339
	女性	515	309	515	377	1,716
35～39歳	男性	515	309	515		1,339
	女性	515	309	515	515	1,854
40～44歳	男性	515	309	515		1,339
	女性	515	309	515	515	1,854
計		4,059	2,472	4,120	1,570	12,221

(6) サンプル数について

この調査では、上記の属性ごとに相当数のサンプルを収集して分析を行なうことを目的としています。そのため、当資料では人口比などによる補正は行なっておりません。

<目 次>

I. 自分が中学生・高校生の頃の親との関係と、現在の子育て意識

1. 自分の親との関係と、子どもを持つ意欲 5 ページ

- ◎ 中高生の頃、両親の仲が円満だったと思う人のほうが、子どもを持つ意欲が強い
　　<「今すぐにでも子どもが欲しい」と思う割合>
 - ・(30代前半男性) 両親の仲が円満だった 31.9%・不仲だった 15.7%
 - ・(20代後半女性) 両親の仲が円満だった 39.0%・不仲だった 27.7%
- ◎ 中高生の頃、親との関係が良好だったと思う人ほど、子どもを持つ意欲が強い
　　<「今すぐにでも子どもが欲しい」と思う割合>
 - ・父または母との関係が、とても良好だった男性 3割・全く良好でなかった男性 2割
 - ・父または母との関係が、とても良好だった女性 4割・全く良好でなかった女性 2割
- ◎ 「親は子どもに優先して時間やお金をかけてくれていた」と思う人のほうが、
　　子どもを持つ意欲が強い
　　<「今すぐにでも子どもが欲しい」と思う割合>
　　親は子どもに優先して時間やお金をかけてくれていたと、
 - ・思う男性 29.3%・思わない男性 21.4%
 - ・思う女性 32.6%・思わない女性 23.7%

2. 自分の親との関係と、子育てに感じる楽しさ 10 ページ

- ◎ 中高生の頃、両親の仲が円満だったと思う人ほど、子育てを楽しんでいる
　　<子育てが「楽しい」と感じる割合>
 - ・両親の仲がとても円満だった男性 57.8%・とても不仲だった男性 37.5%
 - ・両親の仲がとても円満だった女性 44.9%・とても不仲だった女性 23.2%
- ◎ 中高生の頃、親との関係が良好だったと思う人ほど、子育てを楽しんでいる
　　<子育てが「楽しい」と感じる割合>
 - ・父または母との関係が、とても良好だった男性 6割・全く良好でなかった男性 4割
 - ・父または母との関係が、とても良好だった女性 4～5割・全く良好でなかった女性 2割
- ◎ 「親は子どもに優先して時間やお金をかけてくれていた」と思う人のほうが、
　　子育てを楽しんでいる
　　<子育てが「楽しい」と感じる割合>
　　親は子どもに優先して時間やお金をかけてくれていたと、
 - ・思う男性 49.2%・思わない男性 26.3%
 - ・思う女性 33.7%・思わない女性 21.7%

II. 子どもがいない既婚者・未婚者の意識

1. 子どもがいないことで、子どもがいる人と疎遠になったと感じるか 15 ページ
 - ◎ 子どもがいる人とは仲が疎遠になったり、話が合わなくなったと感じる割合
子どもがいない 30 代の男性 3～4 割・女性 6～7 割
2. 子どもがいないことによるハラスメントの感覚..... 16 ページ
 - ◎ 子どもがいないことによるハラスメントを感じる割合
子どもがいない 30 代後半・40 代前半の既婚男性 4 割・既婚女性 7 割
3. 若いうちに子どもをっておけばと感じている人の割合 18 ページ
 - ◎ もっと若いうちに子どもをっておけばよかったと感じている割合
子どもの有無に関わらず、30 代の既婚男性 5～6 割・既婚女性 6～7 割
4. 老後についての不安..... 20 ページ
 - ◎ 子どもがいない自分の老後に不安を感じる割合
子どもがいない 40 代前半の既婚男性 6 割・既婚女性 7 割

III. 子どもを持つ意欲

1. 子どもの人数の理想と現実 21 ページ
 - ◎ 既婚者が考える理想と、実際に予定している子どもの人数はともに「2人」が最多
 - ◎ 理想の子どもの人数を持たない主な理由は、経済的負担と年齢要因
2. 経済力と子どもを持つ意欲..... 24 ページ
 - ◎ 子どもがいない既婚者が「今すぐにでも子どもが欲しい」と思う割合
夫婦合計年収額で差が大きいのは、
 - ・ 30 代後半男性
700 万円未満 : 42.9%・700 万円以上 : 55.3%
 - ・ 40 代前半男性
700 万円未満 : 20.8%・700 万円以上 : 38.5%
 - ・ 30 代前半女性
700 万円未満 : 59.4%・700 万円以上 : 76.0%
 - ◎ 未婚者が「子どもが欲しい」と思う割合
本人年収額で差が大きいのは、
 - ・ 30 代前半男性...年収 400 万円未満 : 45.1%・400 万円以上 : 71.9%
 - ・ 20 代後半女性...年収 300 万円未満 : 63.6%・300 万円以上 : 90.3%
3. 今後、子どもを持つ場合に希望すること 27 ページ
 - ◎ いずれ子どもが欲しい人が最も望むもの
男性「教育費用の負担軽減」・女性「夫の家事・子育てへの協力」

I. 自分が中学生・高校生の頃の親との関係と、現在の子育て意識

1. 自分の親との関係と、子どもを持つ意欲

- ◎ 中高生の頃、両親の仲が円満だったと思う人のほうが、子どもを持つ意欲が強い
 <「今すぐにでも子どもが欲しい」と思う割合>
 - ・ (30代前半男性) 両親の仲が円満だった 31.9%・不仲だった 15.7%
 - ・ (20代後半女性) 両親の仲が円満だった 39.0%・不仲だった 27.7%
- ◎ 中高生の頃、親との関係が良好だったと思う人ほど、子どもを持つ意欲が強い
 <「今すぐにでも子どもが欲しい」と思う割合>
 - ・ 父または母との関係が、とても良好だった男性 3割・全く良好でなかった男性 2割
 - ・ 父または母との関係が、とても良好だった女性 4割・全く良好でなかった女性 2割
- ◎ 「親は子どもに優先して時間やお金をかけてくれていた」と思う人のほうが、子どもを持つ意欲が強い
 <「今すぐにでも子どもが欲しい」と思う割合>
 親は子どもに優先して時間やお金をかけてくれていたと、
 - ・ 思う男性 29.3%・思わない男性 21.4%
 - ・ 思う女性 32.6%・思わない女性 23.7%

➤ 中高生の頃、両親の仲が円満だったと思う人ほど、子どもを持つ意欲が強い

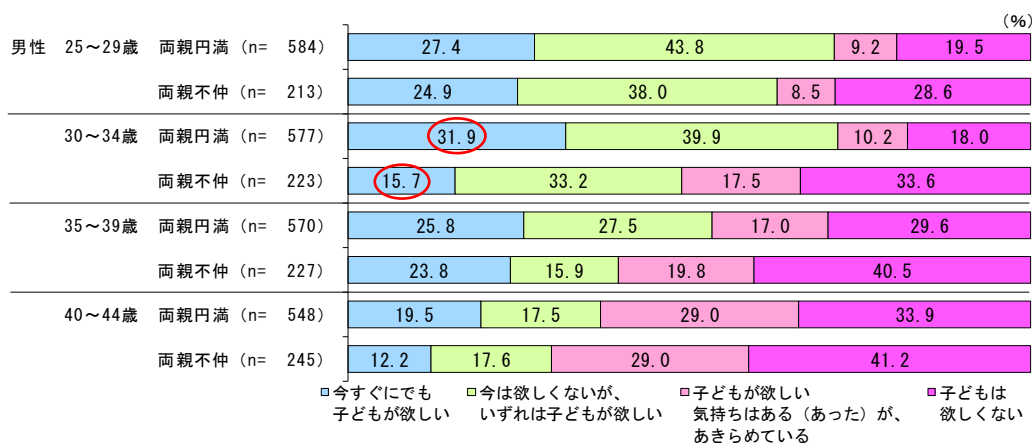
子どもがいない25～44歳の既婚者・未婚者に、「子どもが欲しいと思うか」をたずねたところ、自分が中高生の頃の両親の仲が円満だったと思う人のほうが、不仲だったと思う人より男女とも各年齢層において、子どもが欲しいと回答した割合が高くなっています。

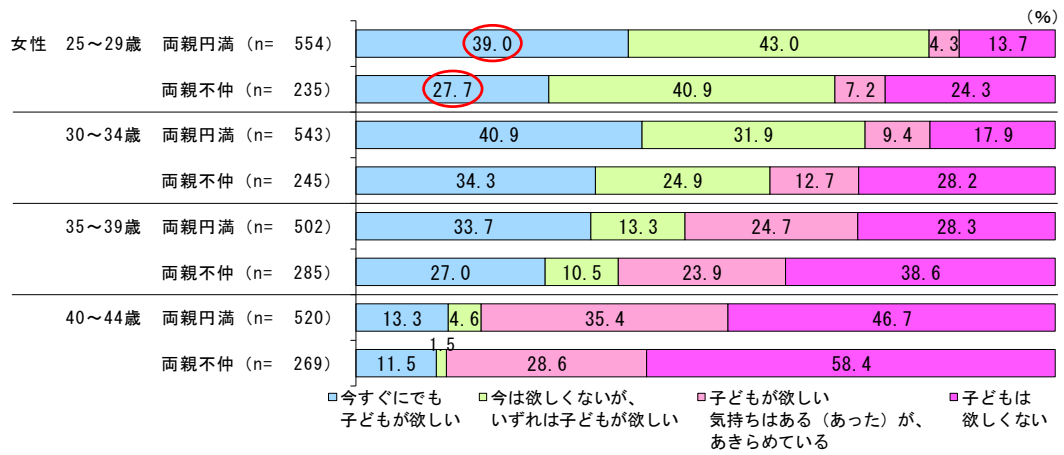
「今すぐにでも子どもが欲しい」割合について、両親の仲が円満か不仲かで最も差が生じているのは、男性は30代前半（円満 31.9%・不仲 15.7%）、女性は20代後半（円満 39.0%・不仲 27.7%）でした。

「今は欲しくないが、いずれは子どもが欲しい」まで含めると、男女ともに30代前半で両親の仲が円満か不仲かで差が目立ちます。

また、中高生の頃の両親の仲が不仲だったと思う人のほうが、男女とも各年齢層において、「子どもは欲しくない」の割合は高くなっています（図表1）。

図表1 子どもを持つ意欲（子どもがいない25～44歳の男女：自分が中高生の頃の両親の仲の良さ別）





➤ **中高生の頃、親との関係が良好だったと思う人ほど、子どもを持つ意欲が強い**

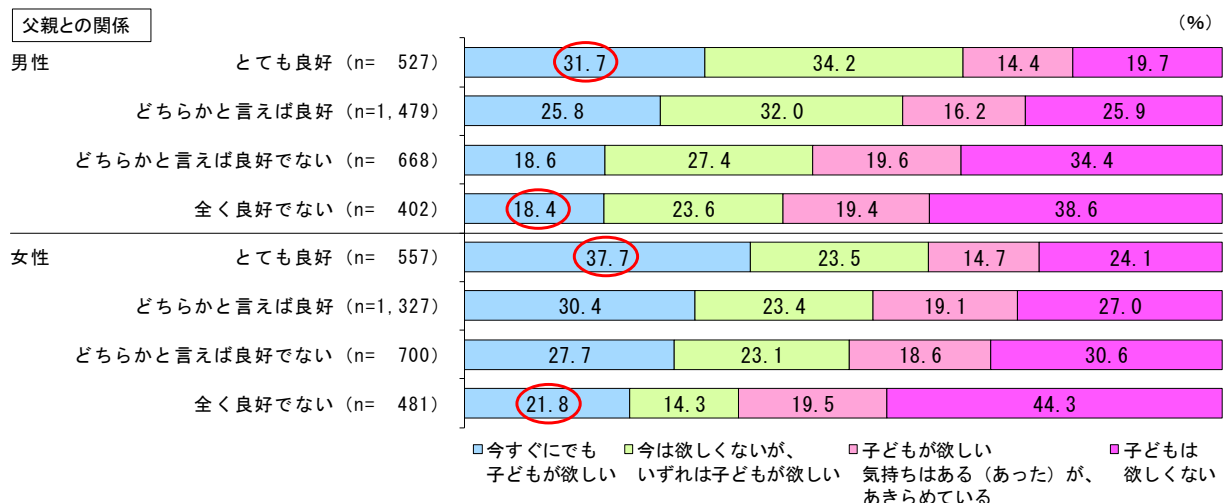
子どもがいない 25～44 歳の既婚者・未婚者の子どもを持つ意欲を、中高生の頃の父親との関係別に見てみると、父親との関係が良好だったと思う人ほど、子どもが欲しいと回答した割合が高くなっています。

男性で、「今すぐにも子どもが欲しい」と回答した割合は、父親との関係がとても良好だったと思う人のうち 31.7%であるのに対して、全く良好でなかったと思う人の場合 18.4%と、13.3ポイント低くなっています。

女性においても、「今すぐにも子どもが欲しい」の割合は、父親との関係がとても良好だったと思う人のうち 37.7%であるのに対して、全く良好でなかったと思う人の場合 21.8%と、15.9ポイント低くなっています。

一方で、「子どもは欲しくない」の割合は、父親との関係が全く良好でなかったと思う人が男女ともに約4割（男性 38.6%・女性 44.3%）と、最も高くなっています。

図表2 子どもを持つ意欲（子どもがいない 25～44 歳の男女：自分が中高生の頃の父親との関係別）



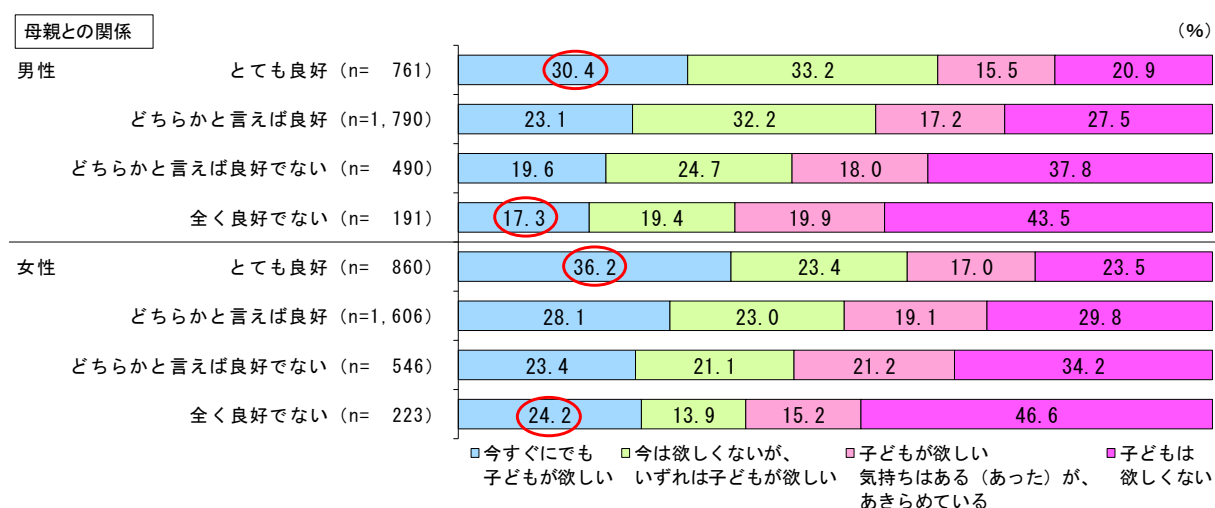
同様に、母親との関係が良好だったと思う人ほど、子どもが欲しいと回答した割合が高くなっています。

男性で、「今すぐに子どもが欲しい」と回答した割合は、母親との関係がとても良好だったと思う人のうち 30.4%であるのに対して、全く良好でなかったと思う人の場合 17.3%と、13.1ポイント低くなっています。

女性においても、「今すぐに子どもが欲しい」の割合は、母親との関係がとても良好だったと思う人のうち 36.2%であるのに対して、全く良好でなかったと思う人の場合 24.2%と、12.0ポイント低くなっています。

一方で、「子どもは欲しくない」の割合は、母親との関係が全く良好でなかったと思う人が男女ともに4～5割（男性 43.5%・女性 46.6%）と最も高くなっています（図表3）。

図表3 子どもを持つ意欲（子どもがいない25～44歳の男女：自分が中高生の頃の母親との関係別）



➤ 「親は子どもに優先して時間やお金をかけてくれていた」と思う人のほうが、
子どもを持つ意欲が強い

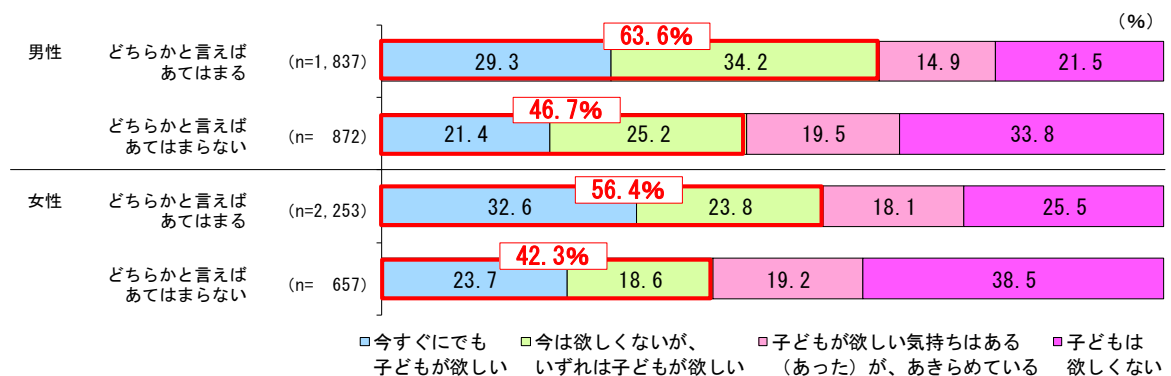
子どもがいない25～44歳の既婚者・未婚者の子どもを持つ意欲を、「親は子どもに優先して時間やお金をかけてくれていたか」別に見ると、どちらかと言えばあてはまると思う人のほうが、子どもが欲しいと回答した割合が高くなっています。

男性で「今すぐにでも子どもが欲しい」と「今は欲しくないが、いずれは子どもが欲しい」を合わせた割合は、どちらかと言えばあてはまると思う人63.6%に対し、どちらかと言えばあてはまらないと思う人46.7%と、16.9ポイントの差があります。

女性も同様の傾向が見られ、どちらかと言えばあてはまると思う人56.4%に対し、どちらかと言えばあてはまらないと思う人42.3%と、14.1ポイントの差があります。

また、どちらかと言えばあてはまらないと思う人については、男女ともに「子どもは欲しくない」の割合が最も高くなっています（男性33.8%・女性38.5%）（図表4）。

図表4 子どもを持つ意欲（子どもがいない25～44歳の男女：親は子どもに優先して時間やお金をかけてくれていたか別）



2. 自分の親との関係と、子育てに感じる楽しさ

- ◎ 中高生の頃、両親の仲が円満だったと思う人ほど、子育てを楽しんでいる
＜子育てが「楽しい」と感じる割合＞
- ・ 両親の仲がとても円満だった男性 57.8% ・ とても不仲だった男性 37.5%
 - ・ 両親の仲がとても円満だった女性 44.9% ・ とても不仲だった女性 23.2%
- ◎ 中高生の頃、親との関係が良好だったと思う人ほど、子育てを楽しんでいる
＜子育てが「楽しい」と感じる割合＞
- ・ 父または母との関係が、 とても良好だった男性 6割
全くと良好でなかった男性 4割
 - ・ 父または母との関係が、 とても良好だった女性 4～5割
全くと良好でなかった女性 2割
- ◎ 「親は子どもに優先して時間やお金をかけてくれていた」と思う人のほうが、子育てを楽しんでいる
＜子育てが「楽しい」と感じる割合＞
- 親は子どもに優先して時間やお金をかけてくれたと、
- ・ 思う男性 49.2% ・ 思わない男性 26.3%
 - ・ 思う女性 33.7% ・ 思わない女性 21.7%

➤ 両親の仲が円満だったと思う人ほど、自分の子育ても楽しいと感じている

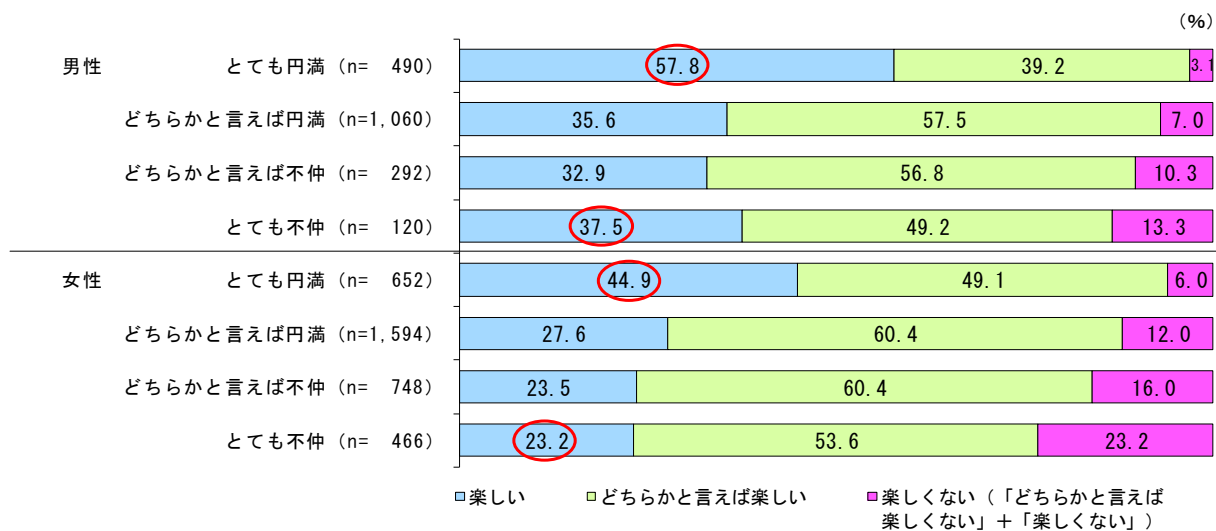
子どもがいる 25～44 歳の男女に、「子育ては楽しいか」をたずねたところ、自分が中高生の頃の両親の仲が円満だったと思う人ほど、男女とも現在の子育てを楽しんでいると感じています。

男性では、両親の仲がとても円満だったと思う人は、子育てが「楽しい」割合が 57.8% と最も高くなっているのに対して、どちらかと言えば円満と思う人・どちらかと言えば不仲と思う人・とても不仲だったと思う人は 3～4割にとどまっています。

女性も同様に、両親の仲がとても円満だったと思う人は、子育てが「楽しい」割合が 44.9% と最も高いのに対し、どちらかと言えば円満と思う人・どちらかと言えば不仲と思う人・とても不仲だったと思う人は 2～3割です。

なお、男女ともに両親の仲がとても不仲だったと思う人ほど「楽しくない」割合は高くなっていますが、たとえ両親の仲が、どちらかと言えば不仲、またはとても不仲だったと思う人でも、「楽しい」と「どちらかと言えば楽しい」を合わせると 8～9割となっています（図表 5）。

図表5 子育ては楽しいか（子どもがいる25～44歳の既婚者・離別者：自分が中高生の頃の両親の仲の良さ別）

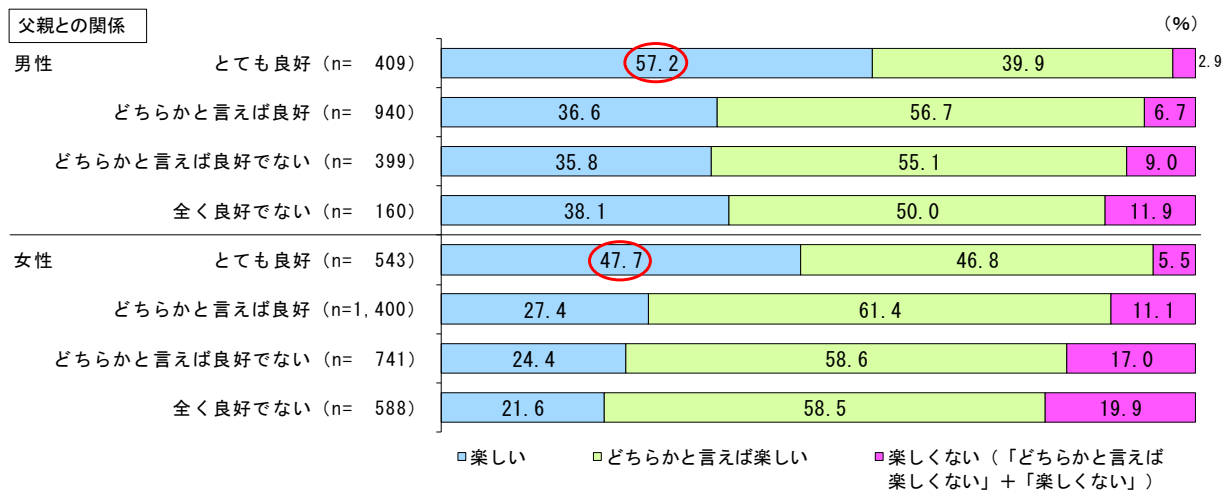


➤ **中高生の頃、親との関係が良好だったと思う人ほど、自分の子育てが楽しいと感じている**

次に、子育てを感じる楽しさを、中高生の頃の父親との関係別に見ると、父親との関係が良好だったと思う人ほど、子育てを楽しんでいると感じています。

男性で子育てが「楽しい」割合は、父親との関係がとても良好だった人が 57.2% で最も高く、どちらかと言えば良好だった人・どちらかと言えば良好でなかった人・全く良好でなかった人と比べると、約 20 ポイント高くなっています。同様に女性も、子育てが「楽しい」割合は、父親との関係がとても良好だった人が 47.7% で最も高く、どちらかと言えば良好だった人・どちらかと言えば良好でなかった人・全く良好でなかった人と比べると、20 ポイント以上高くなっています（図表 6）。

図表 6 子育ては楽しいか（子どもがいる 25～44 歳の既婚者・離別者：自分が中高生の頃の父親との関係別）

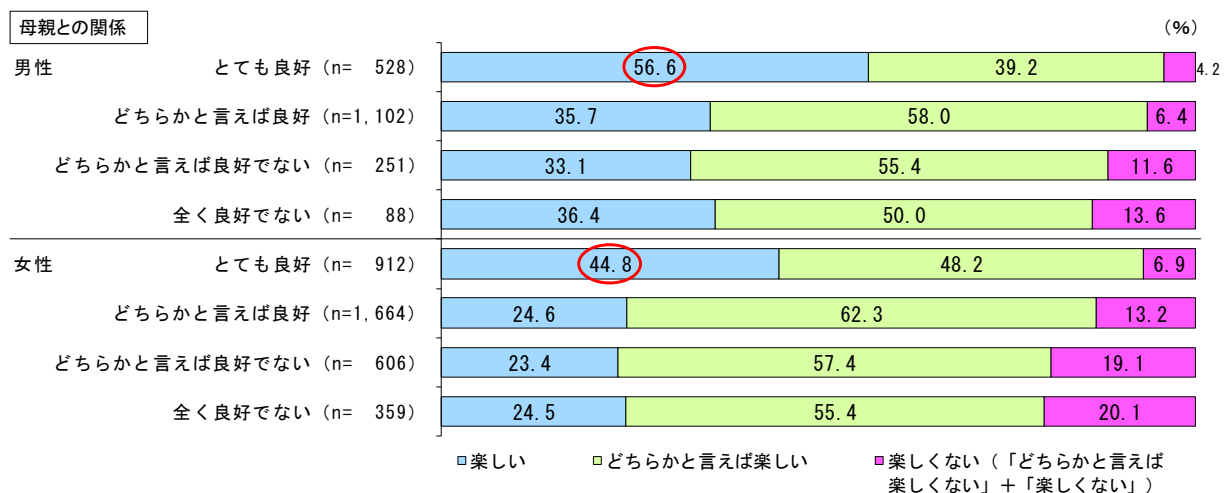


なお、母親との関係においても同様の傾向が見られます。

男性で子育てが「楽しい」割合は、母親との関係がとても良好だった人が 56.6%と最も高く、どちらかと言えば良好だった人・どちらかと言えば良好でなかった人・全く良好でなかった人と比べると 20 ポイント以上高くなっています。女性も子育てが「楽しい」割合は、母親との関係がとても良好だった人が 44.8%で最も高く、どちらかと言えば良好だった人・どちらかと言えば良好でなかった人・全く良好でなかった人と比べると、20 ポイント以上高くなっています。

一方で、男女ともに父または母との関係が全く良好でなかったと思う人でも、子育てが「楽しい」と「どちらかと言えば楽しい」を合わせると 8～9 割となっています（図表 7）。

図表 7 子育ては楽しいか（子どもがいる 25～44 歳の既婚者・離別者：自分が中高生の頃の母親との関係別）

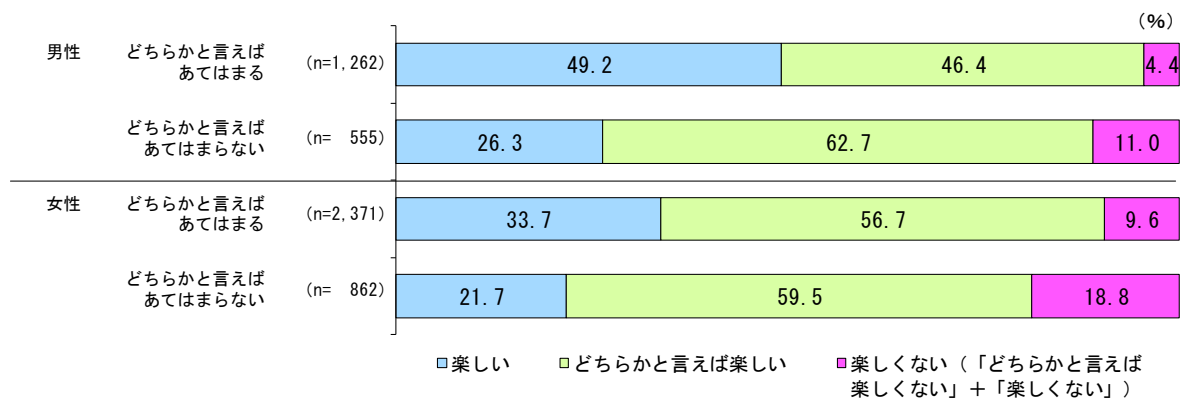


➤ 「親は子どもに優先して時間やお金をかけてくれていた」と思う人のほうが、子育てを楽しんでいる

さらに、子育てに感じる楽しさを「親は子どもに優先して時間やお金をかけてくれていたか」別に見ると、どちらかと言えばあてはまると思う人のほうが自分の子育てを楽しんでいると感じています。

男性では、子育てが「楽しい」割合は、どちらかと言えばあてはまると思う人が 49.2% であるのに対し、どちらかと言えばあてはまらないと思う人の場合 26.3% にとどまります。女性においても、どちらかと言えばあてはまると思う人のうち 33.7% が「楽しい」と回答しているのに対して、どちらかと言えばあてはまらないと思う人の場合 21.7% でした(図表 8)。

図表 8 子育ては楽しいか(子どもがいる 25~44 歳の既婚者・離別者：親は子どもに優先して時間やお金をかけてくれていたか別)



Ⅱ. 子どもがいない既婚者・未婚者の意識

1. 子どもがいないことで、子どもがいる人と疎遠になったと感じるか

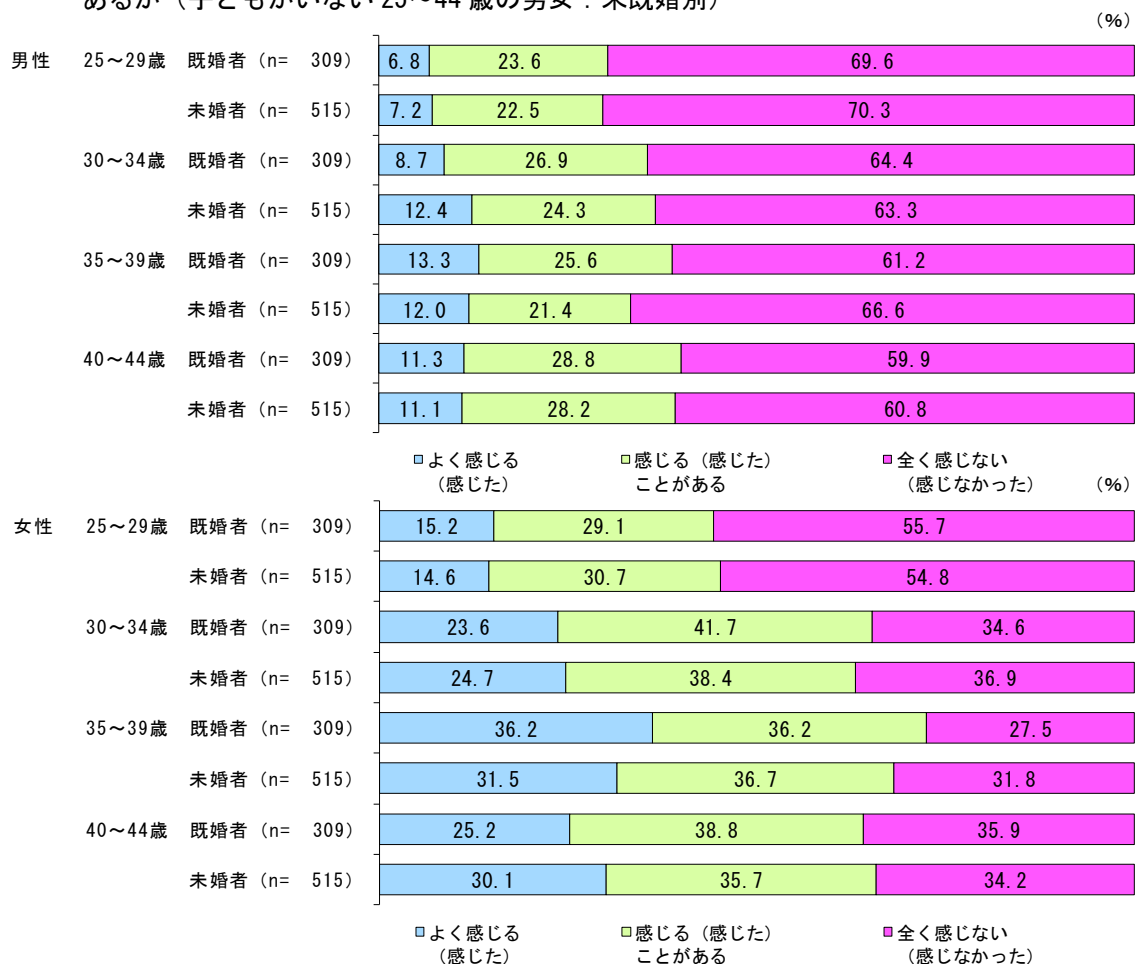
◎ 子どもがいる人とは仲が疎遠になったり、話が合わなくなったと感じる割合
 子どもがいない 30 代の男性 3～4 割・女性 6～7 割

➤ 子どもがいない 30 代後半女性の 7 割が、「子どもがいる人とは仲が疎遠になったり、話が合わなくなったと感じる」

子どもがいない 25～44 歳の既婚者・未婚者に、「子どもがいる人とは仲が疎遠になったり、話が合わなくなったと感じる（感じた）ことがあるか」をたずねたところ、男性では、いずれも約 1 割が「よく感じる（感じた）」と回答しており、「感じる（感じた）ことがある」を合わせると 3～4 割となっています。

一方、女性では、「よく感じる（感じた）」と「感じる（感じた）ことがある」割合はいずれも男性より高くなっています。「よく感じる（感じた）」は、20 代後半既婚者・未婚者ともに約 15% で、さらに 30 代になると 2 割を超えています。なかでも、30 代後半が最も高く、既婚者 36.2%・未婚者 31.5% と、いずれも男性よりも約 20 ポイント高くなっています。また、「感じる（感じた）ことがある」を合わせると、約 7 割の女性が「子どもがいる人とは仲が疎遠になったり、話が合わなくなった」と感じる（感じた）ことがあるようです（図表 9）。

図表 9 子どもがいる人とは仲が疎遠になったり、話が合わなくなったと感じる（感じた）ことはあるか（子どもがいない 25～44 歳の男女：未既婚別）



2. 子どもがいないことによるハラスメントの感覚

◎ 子どもがいないことによるハラスメントを感じる割合

子どもがいない 30 代後半・40 代前半の既婚男性 4 割・既婚女性 7 割

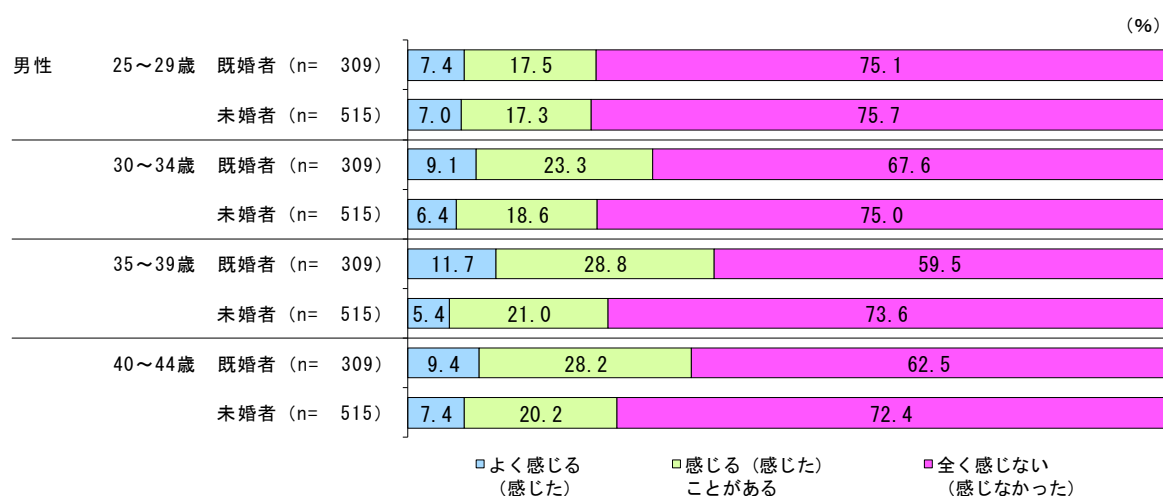
➤ 子どもがいないことによるハラスメントの感覚…未婚者よりも既婚者、男性よりも女性のほうが強い

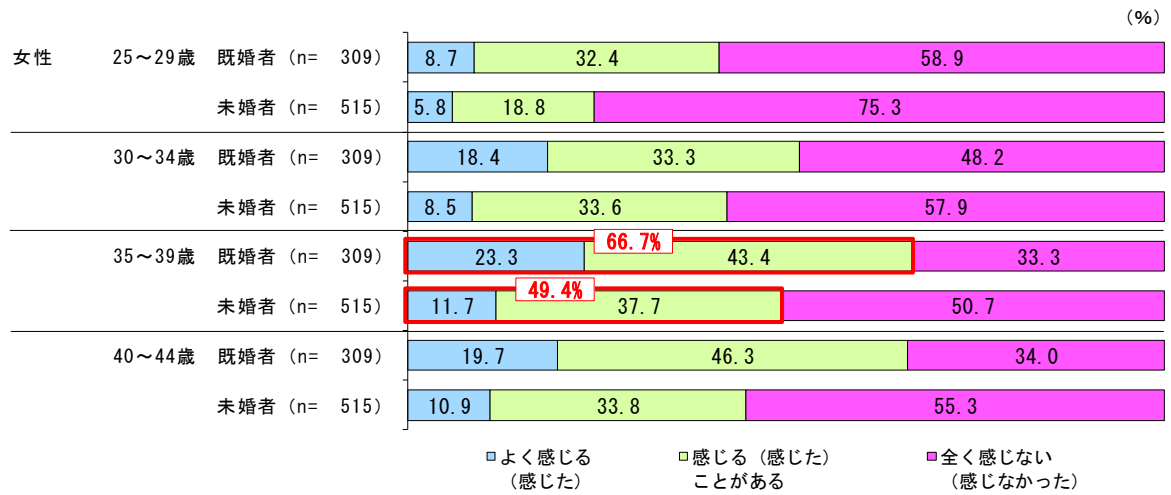
子どもがいない 25～44 歳の既婚者・未婚者に、「子どもがいないことで、今までに肩身の狭い思いやハラスメントを感じる（感じた）ことがあるか」をたずねたところ、「よく感じる（感じた）」と「感じる（感じた）ことがある」割合は、男女ともに既婚者のほうが未婚者よりも高く、また女性のほうが男性よりも高くなっています。

男性で、子どもがいないことによるハラスメント等を「よく感じる（感じた）」は、30 代後半既婚者の 11.7% が最も高く、未婚者の 5.4% を 6.3 ポイント上回っています。「感じる（感じた）ことがある」も既婚者では 30 代後半 28.8%・40 代前半 28.2% と高く、未婚者との差も大きくなっています。また、「よく感じる（感じた）」と「感じる（感じた）ことがある」を合わせても 30 代後半・40 代前半の既婚者で約 4 割、未婚者で約 3 割と、ハラスメント等を感じたことがない割合のほうが高くなっています。

女性では、子どもがいないことによるハラスメント等を「よく感じる（感じた）」は、30 代後半既婚者が 23.3% と最も高く、未婚者の 11.7% よりも 11.6 ポイント上回っています。「よく感じる（感じた）」と「感じる（感じた）ことがある」を合わせると、30 代後半既婚者は約 7 割を占めているに対し、未婚者は約 5 割です。40 代前半既婚・未婚者も 30 代後半と同様の傾向です。既婚女性の場合、男性と異なり 30 代になるとハラスメント等を「よく感じる（感じた）」と「感じる（感じた）ことがある」を合わせた割合のほうが、感じたことがない割合よりも高くなっています（図表 10）。

図表 10 子どもがいないことで、今までに肩身の狭い思いやハラスメントを感じる（感じた）ことはあるか（子どもがいない 25～44 歳の男女：未既婚別）





3. 若いうちに子どもを持っておけばと感じている人の割合

◎ もっと若いうちに子どもを持っておけばよかったと感じている割合
 子どもの有無に関わらず、30代の既婚男性5～6割・既婚女性6～7割

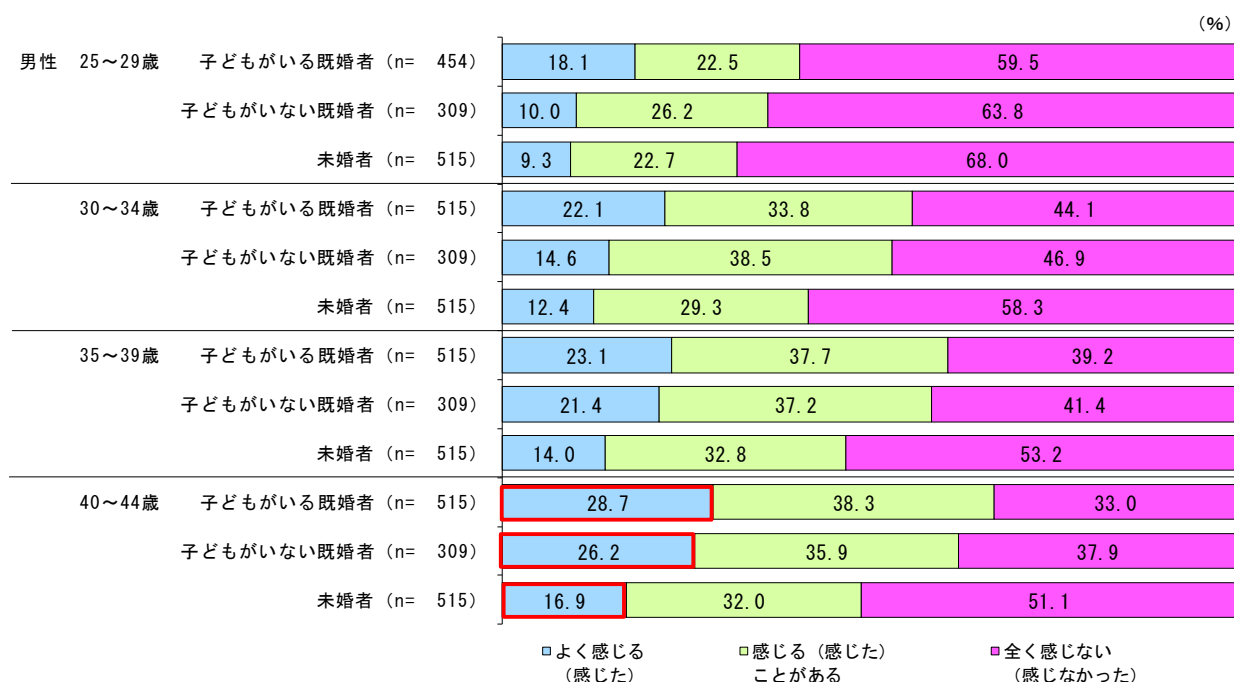
➤ 30代の既婚男性5～6割・既婚女性6～7割が、「もっと若いうちに子どもを持っておけばよかったと感じている」

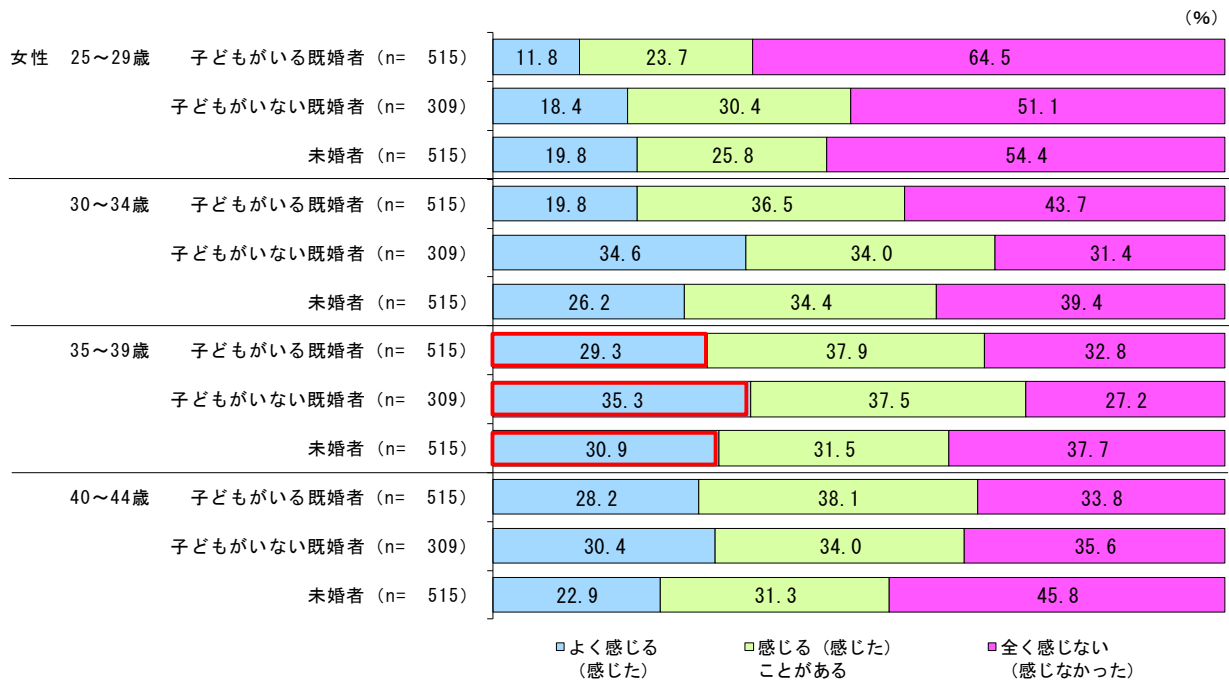
25～44歳の既婚者・未婚者に、「もっと若いうちに子どもを持っておけばよかったと感じる（感じた）ことがあるか」をたずねました。

男性は、年齢層が高いほど「よく感じる（感じた）」割合は高くなっており、40代前半では、子どもがいる既婚者28.7%・子どもがいない既婚者26.2%・未婚者16.9%と最も高くなっています。また、各年齢層において、子どもがいる既婚者が最も高く、「よく感じる（感じた）」と「感じる（感じた）ことがある」を合わせると、30代以上では6～7割です。

一方、女性の「よく感じる（感じた）」は、30代後半が最も高く、子どもがいる既婚者29.3%・子どもがいない既婚者35.3%・未婚者30.9%となっています。また、男性とは異なり、30代以上の女性の「よく感じる（感じた）」は、子どもがいない既婚者が最も高く、子どもがいる既婚者を上回っています。「よく感じる（感じた）」と「感じる（感じた）ことがある」を合わせると、子どもがいない30代の既婚者は約7割となっています（図表11）。

図表11 もっと若いうちに子どもを持っておけばよかったと感じる（感じた）ことはあるか
 （25～44歳の男女：未既婚別）





4. 老後についての不安

◎ 子どもがいない自分の老後に不安を感じる割合

子どもがいない40代前半の既婚男性6割・既婚女性7割

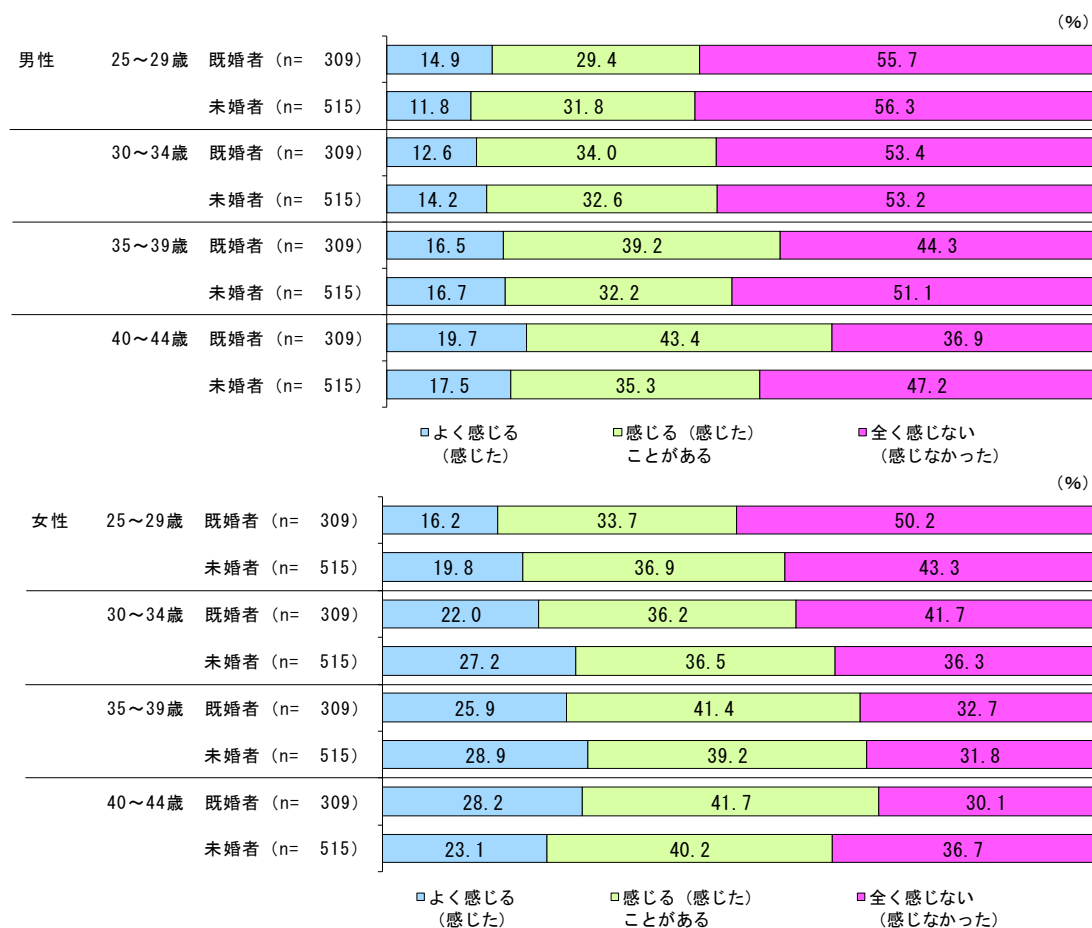
➤ 40代前半の既婚男性6割・既婚女性7割が「子どもがいない自分の老後が不安」

子どもがいない25～44歳の既婚者・未婚者に、「子どもがいない自分の老後に不安を感じる（感じた）ことがあるか」をたずねました。

男性で不安を「よく感じる（感じた）」割合は、20代後半・30代前半では、既婚者・未婚者ともに約1割にとどまりますが、30代後半・40代前半は約2割になります。30代後半・40代前半では、「よく感じる（感じた）」と「感じる（感じた）ことがある」を合わせると、既婚者約6割・未婚者約5割で、既婚者のほうが不安は高くなっています。

一方、女性で「よく感じる（感じた）」は、各年齢層で既婚者・未婚者ともに2～3割となっており、既婚者は40代前半が28.2%、未婚者は30代後半が28.9%と最も高くなっています。また、女性のほうが男性よりも「よく感じる（感じた）」と「感じる（感じた）ことがある」の合計割合は高く、30代後半では合わせて約7割にのぼります。不安を感じる人の割合は、アラサー世代（25～34歳）の女性の場合、既婚者よりも未婚者のほうがやや高く、40代前半では男性同様に既婚者のほうが高くなっています（図表12）。

図表12 子どもがいない自分の老後に不安を感じる（感じた）ことはあるか（子どもがいない25～44歳の男女：未既婚別）



Ⅲ. 子どもを持つ意欲

1. 子どもの人数の理想と現実

◎ 既婚者が考える理想と、実際に予定している子どもの人数はともに「2人」が最多
 ◎ 理想の子どもの人数を持たない主な理由は、経済的負担と年齢要因

➤ 既婚者の考える理想と、実際予定の子ども人数はともに「2人」が最多

25～44歳の既婚者・未婚者に、理想とする子どもの人数と実際に予定している人数をたずねました（子どもがいない既婚者と未婚者については、子どもが欲しいと思う人に限り質問）。

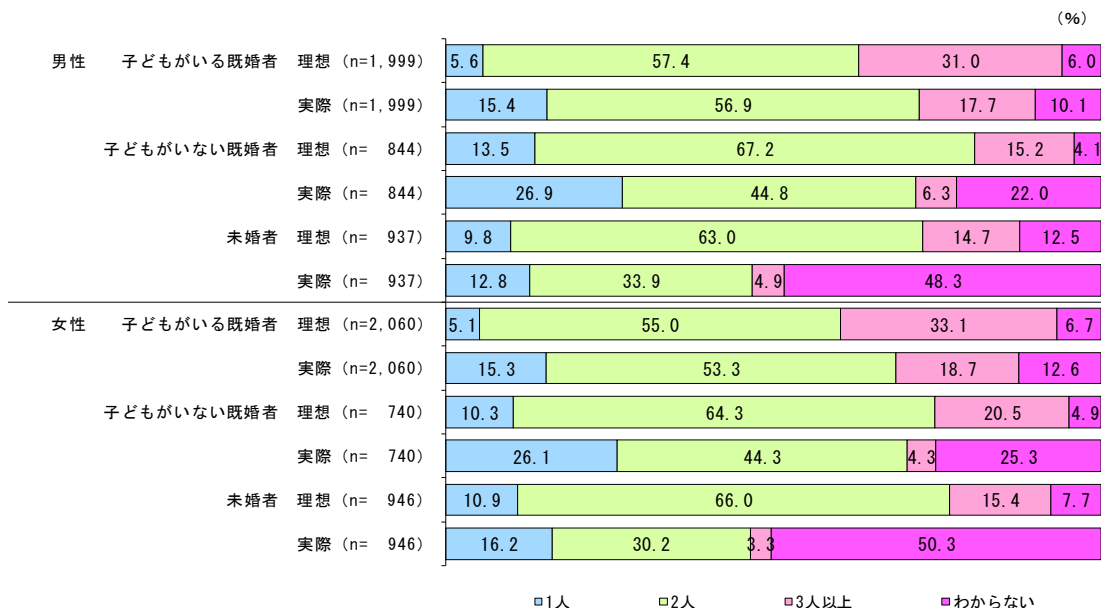
子どもがいる既婚者が理想とする子どもの人数は、「2人」（男性 57.4%・女性 55.0%）の割合が最も高く、次いで「3人以上」（男性 31.0%・女性 33.1%）が続きます。実際に予定している人数を見ると、理想同様に「2人」（男性 56.9%・女性 53.3%）が最も高く、次いで「3人以上」（男性 17.7%・女性 18.7%）と続きます。ただし、実際に予定している人数になると、「3人以上」とする割合は理想より低く、一方で「1人」の割合が男性 15.4%・女性 15.3%と高くなっています。

子どもがいない既婚者においても、理想とする子どもの人数は「2人」の割合が男女ともに最も高く、「3人以上」が続きます。実際に予定している人数を見ると、理想同様に「2人」（男性 44.8%・女性 44.3%）が最も高くなっていますが、理想と異なり「1人」（男性 26.9%・女性 26.1%）が続きます。また、子どもがいる既婚者が実際に予定している人数と比べても、「2人」・「3人以上」の割合が相対的に低く、一方で「1人」の割合が高くなっています。

未婚者が理想とする子どもの人数も、男女ともに「2人」の割合が最も高くなりました（男性 63.0%・女性 66.0%）。しかし、実際に予定している子どもの人数については、未婚者の約5割が「わからない」としており、「2人」を実際に予定している割合も約3割と、既婚者の理想や実際に予定している人数と比べて低くなっています（図表 13）。

図表 13 持ちたい子どもの人数の理想と実際（25～44歳の男女：未既婚別※）

※子どもがいない既婚者・未婚者については、子どもが欲しいと思う人に限り質問

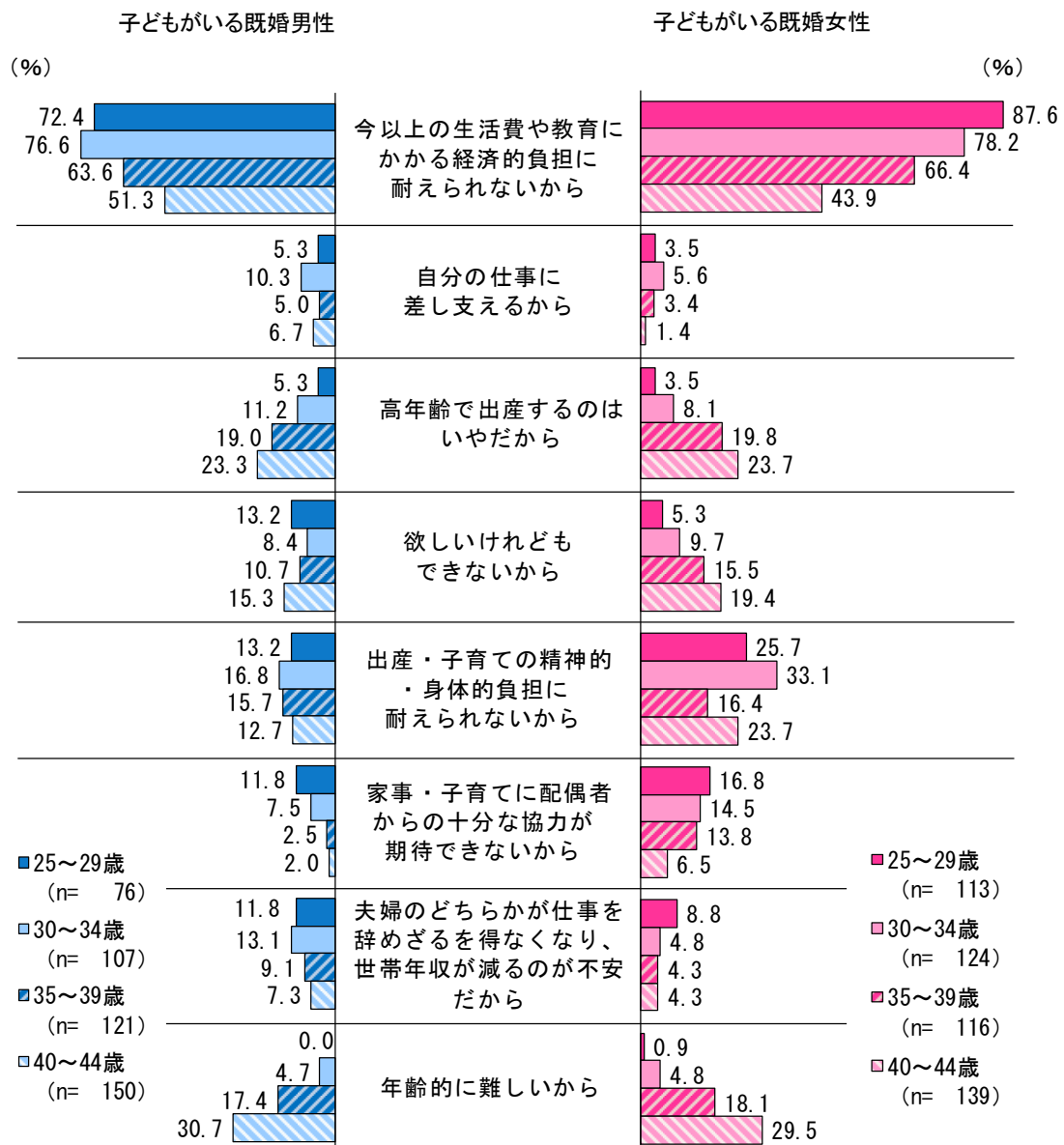


➤ **理想の子どもの人数を持たない主な理由は、経済的負担と年齢要因**

子どもがいる 25～44 歳の既婚者のうち、実際に予定している子どもの人数が理想より少ない人に、その理由をたずねたところ、「今以上の生活費や教育にかかる経済的負担に耐えられないから」が男女ともに最も高くなっています。20 代後半女性の約 9 割、30 代前半男女の約 8 割が理想の子どもの人数を持たない理由に経済的負担を挙げています(20 代後半男性 72.4%・女性 87.6%、30 代前半男性 76.6%・女性 78.2%)。また、出産・子育てに伴う精神的・身体的負担を理由とする 30 代前半女性の割合が、他の年齢層に比べて高くなっています(33.1%)。

なお、男女ともに年齢層が高いほど、「高年齢で出産するのはいやだから」「年齢的に難しいから」等の年齢要因の割合は高くなります(図表 14)。

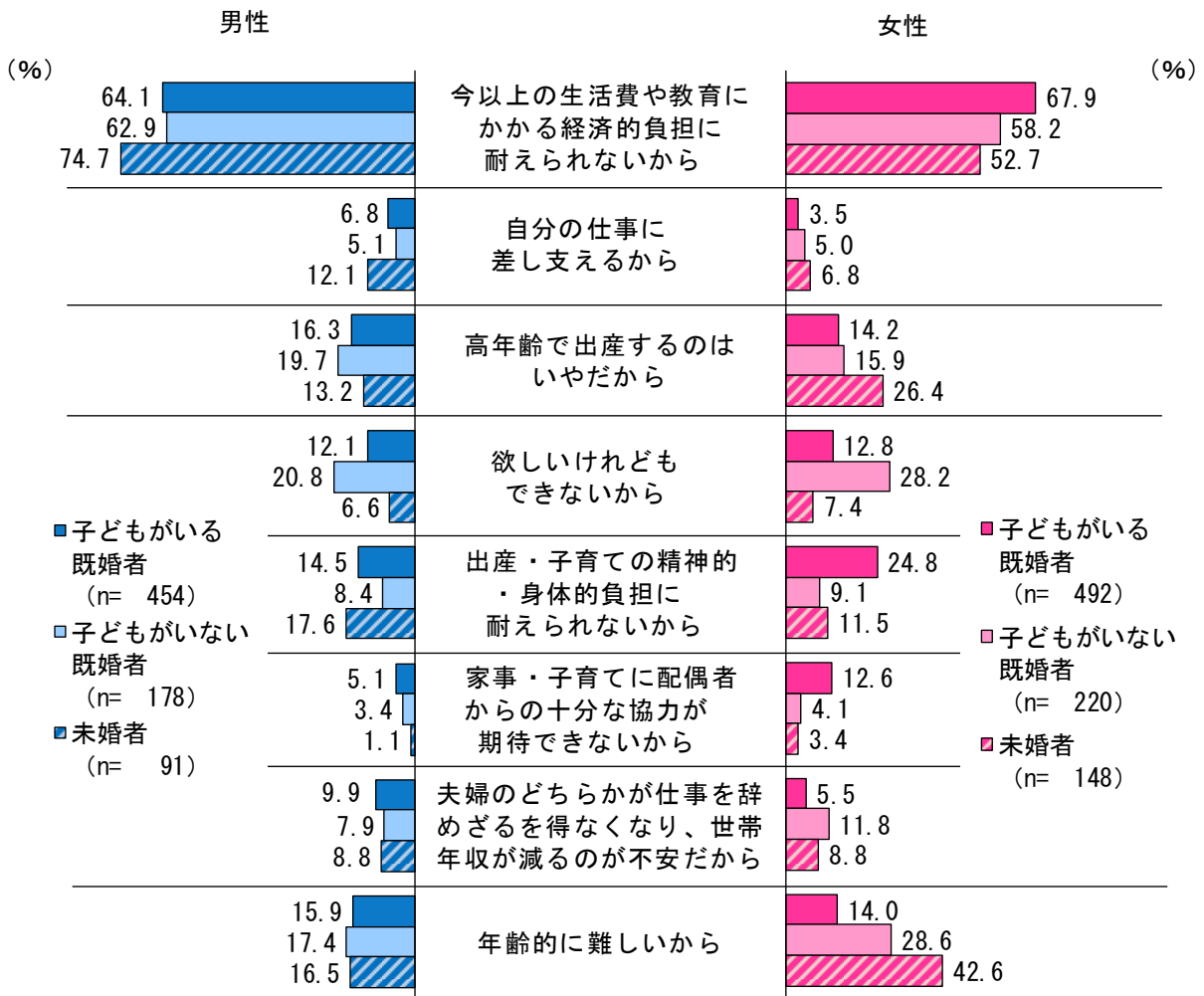
図表 14 理想の子ども人数を持たない理由(子どもがいる 25～44 歳の既婚者・複数回答)



また、理想の子ども的人数を持たない理由を、未既婚別に見ると、未婚男性のほうが既婚男性よりも経済的負担を強く感じています（既婚男性約6割・未婚男性約7割）。

一方、女性では、既婚女性のほうが未婚女性よりも経済的負担を強く感じています（既婚女性約6～7割・未婚女性約5割）。また、未婚女性では「年齢的に難しいから」が約4割・「高年齢で出産するのはいやだから」が約3割と、既婚者よりも年齢を理由とする割合が高くなっています（図表15）。

図表15 理想の子ども人数を持たない理由（25～44歳の男女：未既婚別・複数回答）



2. 経済力と子どもを持つ意欲

◎ 子どもがいない既婚者が「今すぐにでも子どもが欲しい」と思う割合
夫婦合計年収額で差が大きいのは、

・ 30代後半男性

700万円未満：42.9%・700万円以上：55.3%

・ 40代前半男性

700万円未満：20.8%・700万円以上：38.5%

・ 30代前半女性

700万円未満：59.4%・700万円以上：76.0%

◎ 未婚者が「子どもが欲しい」と思う割合

本人年収額で差が大きいのは、

・ 30代前半男性

年収400万円未満：45.1%・400万円以上：71.9%

・ 20代後半女性

年収300万円未満：63.6%・300万円以上：90.3%

➤ 30代後半～40代前半男性・30代前半女性では、夫婦合計年収額によって、子どもを持つ意欲の差が大きい

子どもがいない25～44歳の既婚者に「子どもが欲しいと思うか」をたずねたところ、夫婦の合計年収額別に見ると、男女とも年収が高いほうが、子どもを持つ意欲が高くなっています。

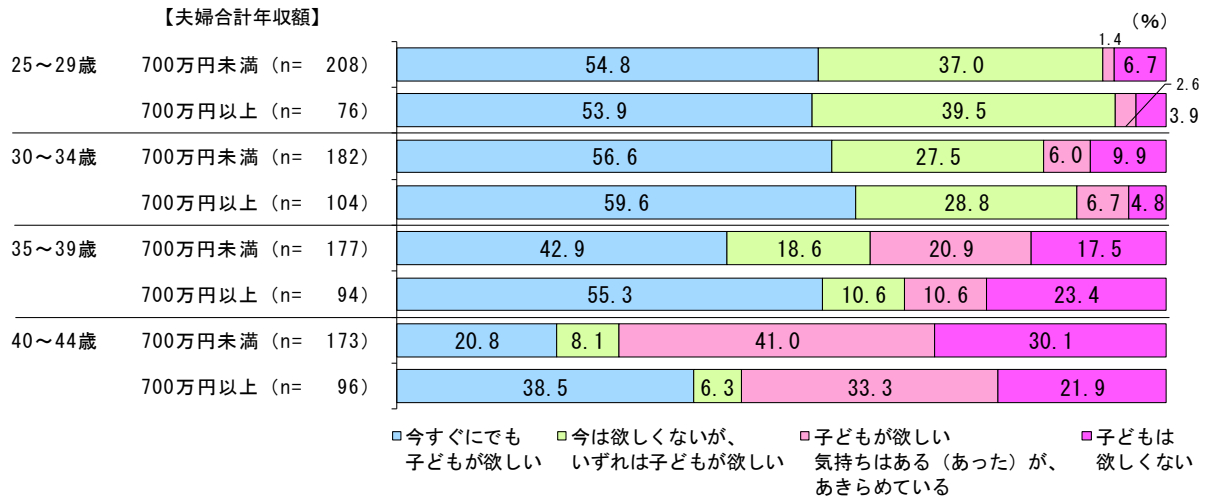
「今すぐにでも子どもが欲しい」と回答した割合は、男性では30代前半が最も高く、夫婦の合計年収額が700万円未満56.6%・700万円以上59.6%といずれも約6割です。しかし、30代後半になると年収額により子どもを持つ意欲に差が開きます。「今すぐにでも子どもが欲しい」割合は、30代後半で700万円未満42.9%・700万円以上55.3%で12.4ポイント差、40代前半では700万円未満20.8%・700万円以上38.5%で17.7ポイント差であり、それぞれ年収が高いほど子どもを持つ意欲も高くなっています。

女性においては、20代後半では700万円未満・700万円以上いずれも約3人に2人が「今すぐにでも子どもが欲しい」と回答しています。しかし、30代前半の「今すぐにでも子どもが欲しい」割合は、700万円未満は59.4%であるのに対し、700万円以上は76.0%と最も高くなっており、16.6ポイントの差があります。

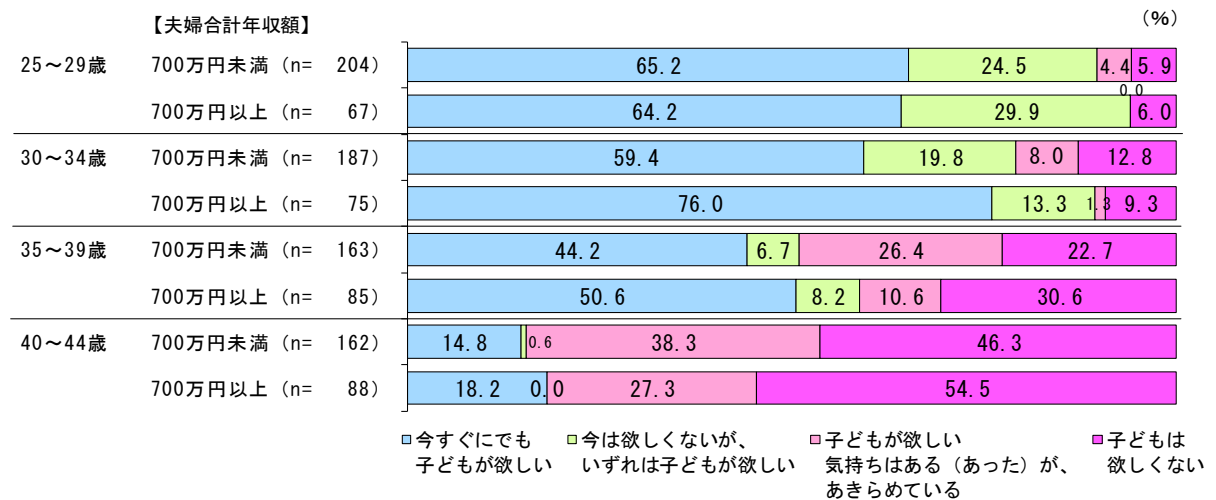
ただ、子どもを持つ意欲は経済力のみで左右されるわけではないようです。たとえば、700万円以上の男女でも「子どもが欲しい気持ちはある(あった)が、あきらめている」割合は、40代になると急に高くなります(30代後半男性10.6%・40代前半男性33.3%、30代後半女性10.6%・40代前半女性27.3%)。さらに、男女ともに「子どもは欲しくない」の割合は年齢層が高いほど上昇し、特に女性は男性と比べてその傾向は顕著で、夫婦の合計年収額700万円以上でも40代前半女性では約5割と高くなっています(図表16)。

図表 16 子どもを持つ意欲（子どもがいない25～44歳の既婚者：夫婦の合計年収額別）
：専業主婦（主夫）を含む

<子どもがいない既婚男性>



<子どもがいない既婚女性>



➤ 未婚者の年収と子を持つ意欲

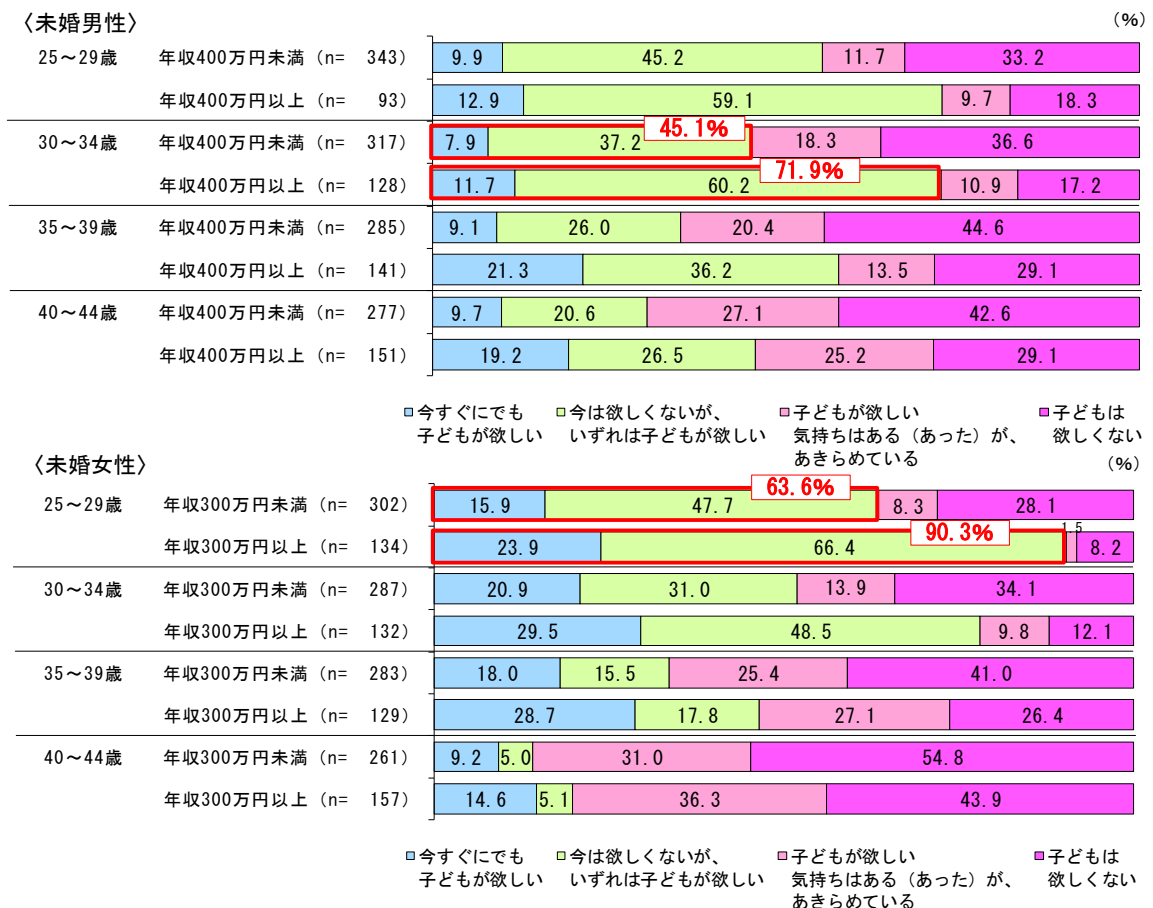
25～44歳の未婚者に「子どもが欲しいと思うか」をたずねたところ、「今すぐにでも子どもが欲しい」割合は、子どもがいない既婚者と比べて男女ともに低くなっています。本人の年収額別に見ると、男女とも年収が高いほうが子どもを持つ意欲は高くなっています。

未婚男性では、年収額が400万円未満より400万円以上のほうが「今すぐにでも子どもが欲しい」と「今は欲しくないが、いずれは子どもが欲しい」を合わせた割合は高くなっています。30代前半では、400万円未満が45.1%であるのに対し、400万円以上は71.9%で、26.8ポイントと最も差が大きくなっています。

また、未婚男性の「子どもは欲しくない」の割合は、30～40代前半の年収400万円未満では約4割であるのに対し、年収400万円以上になると、30代前半は約2割、30代後半・40代前半では約3割と低くなります。

未婚女性も、年収額が300万円未満より300万円以上の女性のほうが「今すぐにでも子どもが欲しい」と「今は欲しくないがいずれは子どもが欲しい」を合わせた割合は高くなっています。特に20代後半では、300万円未満は63.6%であるのに対し、300万円以上では90.3%と26.7ポイント高くなっています。さらに、未婚女性の場合、年収が300万円以上であっても30代後半以降はあきらめの気持ちが未婚男性と比べて高くなっています。40代前半の未婚女性では年収の高低に関わらず、子どもを欲しくない割合も男性より10ポイント以上も高くなっています（図表17）。

図表17 子どもが欲しいと思うか（子どもがいない25～44歳の未婚者：本人の年収額別：無職を含む）



3. 今後、子どもを持つ場合に希望すること

◎ いずれ子どもが欲しい人が最も望むもの 男性「教育費用の負担軽減」・女性「夫の家事・子育てへの協力」

現在子どもがおらず、「今は欲しくないが、いずれは子どもが欲しい」と回答した 25～34 歳の既婚者・未婚者に、今後、子どもを持つとする場合に最も希望することをたずねました。

➤ いずれは子どもが欲しい男性が最も望むのは、教育費用の負担軽減

いずれは子どもが欲しい男性が最も望むことは、「教育にお金がかからないこと」（20 代後半 32.6%・30 代前半 23.7%）でした。

20 代後半では、「子育て世代への経済的支援制度などがさらに充実すること」（15.1%）・「働きながら子育てがしやすい職場環境であること」（13.4%）・「雇用が安定すること」（11.3%）と、経済面の支援・安定化が続きます。

同様に 30 代前半も、経済面の不安解消を内容とする割合が高いですが、20 代後半と異なり、「地域の保育サービスが整うこと（保育所や一時預かりなど）」も高くなっています（20 代後半 6.7%・30 代前半 15.3%）。

➤ いずれは子どもが欲しい女性が最も望むのは、夫の家事・子育てへの協力

いずれは子どもが欲しい女性が最も望むことは、「配偶者の家事・子育てへの協力が得られること」（20 代後半 16.2%・30 代前半 20.8%）と「教育にお金がかからないこと」（20 代後半 16.0%・30 代前半 18.0%）で、ほぼ同水準です。20 代後半では、「働きながら子育てがしやすい職場環境であること」が 16.5%で最も高くなっています。男性と比べると、教育費用の負担軽減や雇用安定といった希望は低い一方で、夫以外の身近な子育ての相談相手・協力者や、夫の家事・子育てへの協力を強く希望していることがわかります（図表 18）。

図表 18 今後、子どもを持つ場合に最も希望すること（現在、子どもがおらず、「今は欲しくないが、いずれは子どもが欲しい」と回答した25～34歳の男女・複数回答）

